

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	国語総合	4	必修	講義	—	▽	再	再	再
学習目標	○現代文及び古典のさまざまな教材を通じて、国語のおもしろさに気付く。 ○読む、書く、聞く、話すというさまざまな言語活動を通じて、基礎的な国語力を養う。								
主な学習計画	1年間の学習 1学期 ○随想『世界は一つのクラスルーム』 ○古文『児のそら寝』など ○漢文(訓点、格言) 2学期 ○評論『コインは円形か』○近代の短歌 ○小説『羅生門』 ○古文『検非違使忠明』 ○漢文 唐詩 3学期 ○評論『「わらしべ長者」の経済学』 ○古文『伊勢物語』								
教科書副教材等	104 数研 国総351 『新編 国語総合』(数研出版) 『新編 国語総合 準拠ワーク』(数研出版) 『アシスト常用漢字』(数研出版) 『新国語便覧』(大修館書店)								
留意事項	○年度末の学習成果発表会で、授業中に作成した作品を展示発表する予定である。 ○「国語総合」は卒業までに4単位履修しなければならない。 ○平成29年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上で「国語総合」未履修(または見込み)。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『日本語練習帳』(大野晋)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	国語常識	2	学校必登録	講義	—	-	◎	-	-
学習目標	○論理的な文章の論旨をていねいに読み取ることができる。 ○文学作品を鑑賞し、考えをまとめることができる。 ○読解したことを生かし、読み手にわかりやすい文章を書くことができる。								
主な学習計画	1年間の学習 ○近代の文学作品、論理的な文章の読解をする。 『山月記』、『身銭』を切るコミュニケーション、『豊かさと多様性』等を予定。 ○文章表現について 資料分析、意見文の構成、レポートの作成など								
教科書副教材等	2 東書 現A306 『現代文A』(東京書籍) 『現代文A 準拠ノート』(東京書籍) 『新国語便覧』(大修館書店) 『アシスト常用漢字』(数研出版) 『基礎から学べる文章カステップ文章検3級対応』(日本漢字能力検定協会)を予定。								
留意事項	○『アシスト常用漢字』『新国語便覧』は「国語総合」で使用したものを再度使用する。 ○自由選択科目「小論文」を選択するには、「国語常識」または「国語表現」を修得(または見込み)していることが条件となる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次である。(2年次学校必登録科目)								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『生物と無生物のあいだ』(福岡伸一)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	現代文 A	2	自由選択	講義	30	-	-	○	○
学習目標	<p>○文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。</p> <p>○目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させていく。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>1学期 「山椒魚」「ミロのヴィーナス」など</p> <p>2学期 「思考の肺活量」「こころ」など</p> <p>3学期 「言葉は世界を切り分ける」など</p>								
教科書副教材等	<p>2 東書 現A306 『現代文A』(東京書籍)</p> <p>『現代文A 準拠ノート』(東京書籍) 『新国語便覧』(大修館書店)ほか</p>								
留意事項	<p>○『新国語便覧』は「国語常識」で使用したものを再度使用する。</p> <p>○「国語総合」を修得していた方が、学習の理解に効果的である。未修得の場合は国語科教員に相談すること。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査    <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト</p> <p>以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件	<p><input type="checkbox"/> 現在2年次以上で「現代文 A」および「現代文 B」を履修していない。</p>								
セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『こころ』(夏目漱石)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	古典B	4	自由選択	講義・演習	30	-	○	○	○
学習目標	<p>○古典に関する文章を読むことで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。</p> <p>○古典を読解する上で必要な、基礎的文語文法等の知識を習得する。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>古文の文法知識を習得し、古文、漢文ともにまとまった量の文章を読む。</p> <p>次年度以降の「古典演習」を意識した内容、スピードで展開する。</p> <p>古文…随筆、日記、説話など。</p> <p>漢文…思想、歴史など。</p>								
教科書副教材等	<p>50 大修館 古B342 『新編古典B 改訂版』(大修館書店)</p> <p>『学習課題ノート』(大修館書店) 『書き込みながら覚える古典文法ワークノート』(第一学習社)</p> <p>『読んで見て覚える重要古文単語315』(桐原書店)</p> <p>『基礎から学ぶ解析古典文法三訂版』(桐原書店)</p>								
留意事項	<p>○「国語総合」の評定が「3」以上であることが望ましい。</p> <p>○平成 30 年度まで設置していた「古典A」の学習と一部重なる部分がある。</p> <p>○文系上級学校への進学を目指し、古典文法の定着を図ろうとする人の選択を前提とする。</p> <p>○令和4年度以降「古典演習」を受講する場合は、この科目を修得していることが条件となる。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査    <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト</p> <p>以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。</p>								
セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 「国語総合」を修得済み(または見込み)。【評定「3」以上が望ましい。】</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『あさきゆめみし』(大和和紀) 『項羽と劉邦』(司馬遼太郎)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	国語表現	2	自由選択	講義・実習	15	-	-	○	○
学習目標	<p>○学校生活や社会生活で必要となる、説得力のある表現など「効果的に表現する」能力を身につける。</p> <p>○題材に応じて様々な情報を取捨選択する力を身につけ、自分の考えをまとめる能力を身につける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○オリエンテーション</p> <p>○言葉のストレッチ ○自己紹介をする ○スピーチ発表</p> <p>○表記・係り受け・話し言葉と書き言葉 ○整った文を書く</p> <p>○ビブリオバトル○エッセイ ○小論文・論文</p> <p>○上記の学習内容を踏まえたプレゼンテーション</p>							
教科書 副教材等	50	大修館	国表307	『国語表現 改訂版』(大修館書店)					
	『国語表現 改訂版 基礎練習ノート』(大修館書店)								
留意事項	<p>○受講希望者は、話し合ったり発表したりしやすい雰囲気づくりに協力すること。また、スピーチ発表等実習活動に積極的に参加し、課題等期限内に必ず提出する姿勢が求められる。</p> <p>○自由選択科目「小論文」を選択するには、「国語常識」または「国語表現」を修得(または見込み)していることが条件となる。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 発表等 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「国語総合」を履修済み(または見込み)。 <input type="checkbox"/> いままで「国語表現Ⅰ」を履修していない。 <input type="checkbox"/> 「小論文」との同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『エッセイ脳』(岸本葉子) 『レポート・論文の書き方入門』(河野哲也)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	小論文	2	自由選択	講義・演習	15	-	-	○	○
学習目標	<p>○社会問題への理解を深め、自分なりの問題意識、意見を持てるようにする。</p> <p>○小論文の型を身に付け、論理的構成のしっかりした文章を書けるようにする。</p> <p>○進路実現に向けて、小論文試験に通用する実践力を養う。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○オリエンテーション(小論文と作文の違い) ○相互評価の方法を学ぶ。</p> <p>○様々な分野、テーマで小論文を書き、社会問題への理解と実践力を養う。</p> <p>○図書館資料を活用し、テーマ理解を図りながら自分の考えを深めつつ情報収集能力を養う。</p> <p>○小論文実践問題(特に進路に即したテーマで小論文を書き、実践力を身に付けていく)</p> <p>○レポート作成を通じて論理的思考力、表現力を養う。</p>							
教科書 副教材等	『小論文頻出テーマ解説集 現代を知る plus』(第一学習社)								
	『小論文頻出テーマ チェック&ワーク』(第一学習社)などを予定。								
留意事項	<p>○実践力を身に付けるため、毎回800字程度の小論文、文章要約など多量の宿題が出るので注意すること。「国語表現」「国語常識」の評定が「3」以上であることが望ましい。</p> <p>○課題提出や発表が中心となる。書く課題だけでなく、話す課題もあるので注意すること。</p> <p>○「国語表現」と内容が一部重なるため、同時履修は不可とする。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「国語総合」を履修済み(または見込み)。 <input type="checkbox"/> 「国語表現」または「国語常識」を修得済み(または見込み)。 <input type="checkbox"/> 「国語表現」との同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『樋口裕一の小論文トレーニング』(樋口裕一)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	現代文演習	2	自由選択	講義・演習	30	-	○	○	○
学習目標	○大学受験を視野にいれた読解力・答案力を身に付けさせる。 ○入試レベルの評論文に対して、論理的読解力の向上をめざす。小説文に対して、心情読解・情景読解を中心に客観的読解力の向上をめざす。								
主な学習計画	1年間の学習	年間通して大学入試(共通テスト・一般入試)を想定した演習・解説							
教科書副教材等	『私大対策評論 20 standard』(いいずな書店) 『センター試験演習現代文』(いいずな書店)などを予定。								
留意事項	○大学入試レベルの演習形式の授業展開を予定している。 ○定期考査には応用力を問うために初見の文章も出題する予定。 ○「国語総合」を修得し、なおかつ大学入試(共通テスト・一般入試)を受験する予定のものが望ましい。 「国語総合」が未修得の場合は国語科教員に必ず相談すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『現代文の勉強法をはじめからていねいに』(出口汪)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	古典演習	2	自由選択	講義・演習	30	-	-	○	○
学習目標	○古典に用いられている語句、用法、文法等を理解し、理解や関心を深めながら読む能力を養う。 ○古典を読んで内容を的確にとらえ、ものの味方、感じ方、考え方を豊かにする。								
主な学習計画	1年間の学習	○古典文法の総合的理解 ○大学入学試験を想定した演習							
教科書副教材等	『基礎から学ぶ解析古典文法』(桐原書店) 『必携 古典文法練習ノート』(尚文出版)『新成古典 大学入学共通テスト対策版』(尚文出版) ほか古典演習のための指定問題集								
留意事項	○「古典A」または「古典B」を修得済み(または見込み)である。 ○上級学校受験で古典を必要とする生徒向けの講座である。 ○「古典B」よりも内容が高度かつ進行が速い。自宅での予習・復習が必須である。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 「古典A」または「古典B」を修得済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 「古典B」との同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『基礎から学ぶ 解析古典文法』(桐原書店編集部) ※使用教材								

# 国語科

## ☆履修モデル(10期生)

	モデルA (一般受験型)	モデルB (推薦入試型)	モデルC
卒業 年次	現代文演習(2)	小論文(2)	(現代文A(2))
卒業 前年度 ・ 2年次	↑ 現代文A(2)	↑ 国語表現(2)	
1年次	国語総合(4) <b>必修</b>	国語総合(4) <b>必修</b>	
選択の 目安 (進路)	4年制大学 文科系学部	進学入試で 自己PR文、 志望理由、 プレゼンテーション が課せられている または就職	卒業要件のみ満たす

## ☆履修モデル(11期生)

	モデルA (一般入試型)	モデルB (推薦入試型)	モデルC
卒業 年次	現代文演習(2)	小論文(2)	(現代文A(2))
卒業 前年度 ・ 2年次	↑ 現代文A(2)	↖ ↗ ↑ 国語常識(2)	国語常識(2) <b>登録</b>
1年次	国語総合(4) <b>必修</b>	国語総合(4) <b>必修</b>	国語総合(4) <b>必修</b>
選択の 目安 (進路)	4年制大学 文科系学部	進学入試で 自己PR文、 志望理由、 プレゼンテーション が課せられている または就職	卒業要件のみ満たす

## ☆履修モデル(12期生～) ※現代文Aは、3年次以上の生徒が履修登録できる科目です(2年次登録不可)

	モデルA (一般入試型)	モデルB (推薦入試型)	モデルC
卒業 年次	現代文演習(2)	小論文(2)	(現代文A(2))
卒業 前年度 ・ 2年次	↑ (現代文A(2))	↖ ↗ ↑ 国語常識(2)	国語常識(2) <b>登録</b>
1年次	国語総合(4) <b>必修</b>	国語総合(4) <b>必修</b>	国語総合(4) <b>必修</b>
選択の 目安 (進路)	4年制大学 文科系学部	進学入試で 自己PR文、 志望理由、 プレゼンテーション が課せられている または就職	卒業要件のみ満たす

※カッコの付いた科目(例えば(現代文A(2)))は必ずしも必要ではないけれど、登録するならオススメの科目です。  
科目名の後ろの(2または4)はその科目の単位数を表しています。

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史A	2	必修	講義	36	-	□	□	▽
学習目標	○近現代を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら学ぶ。 ○歴史上重要な事象を中心に基礎的知識を獲得し、歴史的なものの見方や考え方を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習 ○世界史へのいざない ○ユーラシアの諸文明(前近代史の概要) ○一体化する世界 …大航海時代の世界、アメリカとフランスの革命、産業革命など ○19世紀の欧米世界 …アジア諸国とヨーロッパの進出 帝国主義の時代など ○現代の世界と日本 …第一次世界大戦と民族主義、ファシズムの台頭と第二次世界大戦、米ソ冷戦とアジア・アフリカ など								
教科書 副教材等	46	帝国	世A314	『明解 世界史A』(帝国書院) 『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院)					
留意事項	○「世界史 A」は卒業までに2単位履修しなければならない。 ○世界史での一般受験を考えている生徒は、「世界史演習 I・II」をあわせて履修することが望ましい。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。		
履修条件	□ 現在1年次以上で「世界史 A」未履修(または見込み)。(4年次の年次指定科目)								
セルフチェック	□ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『世界史用語集』(全国歴史教育研究協議会)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	日本史A	2	必修	講義	36	□	▽	再	再
学習目標	○近現代史を中心に、日本の歴史を当時の国際情勢と関連付けながら学ぶ。								
主な学習計画	1年間の学習 ○近代日本の形成 (国際情勢の変化と明治維新、明治新政府の諸改革、立憲国家の成立) ○東アジア世界の変動と日本 (日清戦争と近代社会の確立、日露戦争と帝国日本の形成) ○二つの世界大戦と日本 (第一次世界大戦と帝国日本、軍国日本への道、太平洋戦争) ○第二次世界大戦後の国際社会と日本 (現代世界の開幕と日本の戦後改革)								
教科書 副教材等	2	東書	日A308	『日本史A 現代からの歴史』(東京書籍) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○「日本史 A」は卒業までに2単位履修しなければならない。 ○日本史での一般受験を考えている生徒は、「日本史演習 I・II」をあわせて履修することが望ましい。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。		
履修条件	□ 令和3年度新入生、または現在1年次以上で「日本史 A」未履修(または見込み)。								
セルフチェック	□ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『生きづらい明治社会 — 不安と競争の時代 —』(松沢 裕作)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	地理A	2	自由選択	講義	36	○	○	○	○
学習目標	○現代社会の特色をさまざまな方法によって、地理的な見方や考え方を身に付ける。 ○世界の諸地域の生活や文化の特色を歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し異文化理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○地球儀や地図からとらえる現代社会 ○世界の生活・文化の多様性(地形・気候・経済・文化) ○地球的課題の地理的考察(環境問題・資源、エネルギー問題・人口、食料問題・居住、都市問題) ○自然環境と防災・生活圏の諸課題								
教科書 副教材等	46 帝国 地A308 『高等学校 新地理A』(帝国書院) 地図帳『標準高等地図—地図でよむ現代社会』(帝国書院)								
留意事項	○ノート、プリントをとじるファイルを用意すること。 ○新3年次以降での履修が妥当な科目であるが、科目履修に余裕がある生徒や、この科目が進路に関係する生徒は、新1年次か2年次で履修することも可能である。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『中学校の地理が1冊でしっかりわかる本』(宮路秀作)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史演習 I	2	自由選択	講義	36	-	○	○	○
学習目標	○前近代史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、世界の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○地球と人類のはじまり ○西アジア世界・地中海世界の形成(オリエント、ギリシア、ローマなど) ○南アジア世界・東アジア世界の形成(インド、中国、朝鮮半島など) ○イスラーム世界の形成と拡大(イスラーム国家の成立、イスラームの文化など) ○ヨーロッパ世界の形成と変動(中世ヨーロッパ) ○内陸アジア世界、諸地域世界の繁栄と成熟(モンゴル帝国・明・清など)								
教科書 副教材等	2 東書 世 B311 『新選 世界史B』(東京書籍) 『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院)								
留意事項	○大学進学を目指し、前近代史を学習したいという生徒のための講座。 ○「世界史演習 I」と「世界史演習 II」で「世界史B」の内容を学習する。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『時代と流れで覚える！世界史B用語』(相田知史・小林勇祐)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史演習Ⅱ	2	自由選択	講義	36	-	○	○	○
学習目標	○近現代史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、世界の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○ヨーロッパの拡大と大西洋世界(大航海時代、ルネサンス、宗教改革など) ○産業社会と国民国家の形成(産業革命、合衆国独立、フランス革命とナポレオンなど) ○世界市場の形成とアジア諸国(ヨーロッパ諸国のアジア進出、アジアの変動など) ○世界の分割(世界を支配する国々、民族主義と国家建設、世界の一体化など) ○二つの世界大戦(第一次世界大戦、合衆国の繁栄、世界恐慌、第二次世界大戦など) ○戦後世界の形成と変容(冷戦、第三世界、平和共存と多極化、冷戦の終結など)								
教科書 副教材等	2 東書 世 B311 『新選世界史B』(東京書籍) 『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院)								
留意事項	○大学進学を目指し、近現代史を学習したいという生徒のための講座。 ○「世界史演習Ⅰ」と「世界史演習Ⅱ」で「世界史B」の内容を学習する。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『時代と流れで覚える！世界史B用語』(相田知史・小林勇祐)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	日本史演習Ⅰ	2	自由選択	講義	36	-	○	○	○
学習目標	○古代から近世の歴史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、日本の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○古代国家の形成と貴族文化の誕生 (原始社会の生活と文化、農耕社会の形成と大陸文化の摂取、律令国家の形成、摂関政治) ○武家社会の形成と生活文化のめばえ (中世社会の成立、武家社会の形成と東アジア) ○近世社会の形成と庶民文化の展開 (ヨーロッパ文化との接触と国内統一、幕藩体制の成立、近世社会の発達)								
教科書 副教材等	2 東書 日 B310 『新選日本史B』(東京書籍) 『新詳日本史』(浜島書店)								
留意事項	○大学進学を目指し、「日本史B」を受験科目とする生徒のための講座。 ○「日本史演習Ⅰ」と「日本史演習Ⅱ」で「日本史B」の内容を学習する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『名人の授業 金谷の日本史「なぜ」と「流れ」がわかる本』(金谷俊一郎)								



# 地歴

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	日本史演習Ⅱ	2	自由選択	講義	36	-	○	○	○
学習目標	○近代以降の歴史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、日本の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○近代国家の形成と国民文化の発展 (開国から明治維新へ、立憲政治の形成、日本の近代化と東アジア、デモクラシーと第一次世界大戦、激動する世界と日本) ○現代の世界と日本 (占領と国内改革、国際社会への復帰と高度経済成長)								
教科書 副教材等	2	東書	日 B310	『新選日本史B』(東京書籍) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○大学進学を目指し、「日本史B」を受験科目とする生徒のための講座。 ○「日本史演習Ⅰ」と「日本史演習Ⅱ」で「日本史B」の内容を学習する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『名人の授業 金谷の日本史「なぜ」と「流れ」がわかる本』(金谷俊一郎)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	社会基礎	2	自由選択	講義・演習	36	○	○	-	-
学習目標	○中学校社会科の地理分野、歴史分野、公民分野の基礎を学び直し、高校における地理歴史科・公民科に対する学習意欲を高める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○地理的分野の復習(世界地理・日本地理・地形) ○歴史的分野の復習(先史時代から江戸時代末期まで、日本史中心) ○公民的分野の復習(憲法・人権・三権分立・消費と生産・現代の諸課題等)								
教科書 副教材等	46	帝国	地図-309	『標準高等地図-地図でよむ現代社会-』(帝国書院) ワークシート等使用					
留意事項	○社会科が苦手である、または、中学校の社会科を学び直したいという生徒のための講座。 ○中学校で学習する、地理的分野・歴史的分野・公民的分野を総合的に復習します。 ○ワークシート等をとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 確認テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	中学校社会科教科書								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	現代社会	2	必修	講義	36	-	□	▽	再
学習目標	○現代の社会と人間について理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代社会の諸課題とそのとらえ方</li> <li>○現代の社会生活と自己実現</li> <li>○現代の民主政治と民主社会の倫理</li> <li>○現代の経済と国民の福祉</li> <li>○現代の国際社会と日本の役割</li> <li>○共に生きる社会をめざして</li> </ul>							
教科書副教材等	46	帝国	現社318	『高等学校 新現代社会』(帝国書院)					
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「現代社会」は卒業までに2単位履修しなければならない。</li> <li>○ノートやワークシートを使用した授業を行います。</li> <li>○課題として資料や新聞記事等の感想やレポート等を書くこともあります。</li> </ul>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	□ 現在1年次以上で「現代社会」未履修(または見込み)。(3年次の年次指定科目)								
セルフチェック	□ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『朝日中高生新聞』(朝日新聞社)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	倫理	2	自由選択	講義	36	-	-	○	○
学習目標	○青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青年期と自己の課題</li> <li>○人間としての自覚</li> <li>○世界の中の日本人</li> <li>○現代社会を生きる倫理</li> <li>○現代の課題と倫理</li> </ul>							
教科書副教材等	81	山川	倫理309	『現代の倫理 改訂版』(山川出版社)					
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートを使用した授業を行います。ファイルを用意すること。</li> <li>○授業内でグループワーク、発表を行います。</li> </ul>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	□ 現在2年次以上である。								
セルフチェック	□ 「現代社会」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。								
セルフチェック	□ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ソクラテスの弁明』(プラトン) 『教養として学んでおきたい5大宗教』(中村圭史) 『風土』(和土哲郎)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	政治・経済	2	自由選択	講義	36	-	-	○	○
学習目標	○広い視野に立ち、現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせると共に、人間としての在り方生き方についての自覚を育て平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な能力と資質を養う。								
主な学習計画	1年間の学習	○現代国家と民主政治 ○日本の政治制度と政治参加 ○日本の平和主義と国際平和 ○現代の日本経済と福祉の向上 ○現代社会の諸課題		○日本国憲法と基本的人権 ○現代の国際政治 ○現代の経済社会 ○現代の国際経済					
教科書副教材等	7	実教	政経313	『最新政治・経済 新訂版』(実教出版)					
留意事項	○大学進学を目指し、「政治・経済」を受験科目とする生徒のための講座。 ○ノートやワークシートを使用した授業を行います。 ○授業内でグループワーク、発表を行うことがあります。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「現代社会」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『アメリカの高校生が読んでいる経済の教科書』(小川正人) 『未来をつくる君たちへ』(堀尾輝久)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	時事問題	2	自由選択	講義	36	-	○	○	○
学習目標	○「ニュース時事能力検定」各級の合格にむけた対策を通じて、現代社会の出来事に関心を持ち、社会の仕組みや流れについての正しい知識を身に付け、新聞やテレビのニュースを読み解くための「時事力」を養う。								
主な学習計画	1年間の学習	○「ニュース時事能力検定」3級合格にむけた講義 ○「ニュース時事能力検定」3級合格にむけた問題演習 ○「ニュース時事能力検定」3・(準2)級合格にむけた講義 ○「ニュース時事能力検定」3・(準2)級合格にむけた問題演習							
教科書副教材等	『ニュース検定公式テキスト&問題集 時事力基礎編(3・4級対応)』 オリジナル教材プリント								
留意事項	○「ニュース時事能力検定」合格に向けた対策を行う講座である。 ○検定受験の際には受験料などがかかる。 ○準2級以上の合格を目指す場合は別途問題集代と受験料などがかかる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『武装解除 紛争屋が見た世界』(伊勢崎 賢治)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学 I	4	必修	講義・演習 【習熟度別】	—	▽	再	再	再
学習目標	○高校数学の基礎を学ぶ。 ○基礎的な知識を身に付け、数学的な技能(問題を処理すること)の習熟を図る。 ○事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。(筋道を立ててものごとを粘り強く考える力を訓練する。)								
主な学習計画	1年間の学習	○数と式 ○図形と計量 ○データの分析 ○2次関数 ○集合と命題							
教科書副教材等	104	数研	数 I 331	『改訂版 新 高校の数学 I 』(数研出版) 『書き込み式シリーズ 改訂版 ポイントノート数学 I 』(数研出版) 『基礎力 100% 高校計算カトレーニング』(増進堂)					
留意事項	○「数学 I」は卒業までに3単位以上履修しなければならない。 ○習熟度別クラス編成によって授業を進める。 ○「数学 II」「数学 B」を受講する場合、この科目を修得していることが条件となる。 ○平成 30 年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次以上で「数学 I」未履修(または見込み)。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『白チャート』『黄チャート』(数研出版)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学A	2	学校必登録	講義・演習 【習熟度別】	—	-	◎	-	-
学習目標	○場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ○事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を身に付ける。(新たな課題の解決に数学を活用していこうとする態度や具体的な事象を数学的に処理するための基礎を身に付ける。)								
主な学習計画	1年間の学習	○場合の数と確率 ○図形の性質 または ○整数の性質 ※単位数の関係ですべてを扱うことが難しいため、生徒の実態等に応じて2つの内容から、適宜選択して履修する。							
教科書副教材等	104	数研	数A330	『改訂版 最新 数学A』(数研出版) 『書き込み式シリーズ 改訂版 プラクティスノート 数学 A』(数研出版)					
留意事項	○2年次の学校必登録科目のため、現在1年次の生徒は全員登録。 ○現在2年次以上の生徒は履修できません。 ○平面図形の分野では、コンパス、定規を使用します(各自で用意すること)。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次である。(2年次学校必登録科目)								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『白チャート』『黄チャート』(数研出版)								

# 数学

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学Ⅱ	4	自由選択	講義・演習	30	-	○	○	○
学習目標	○「数学Ⅰ」で学んだ知識を基に、さらに進んだ概念・知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、それらを活用する態度を身に付ける。(ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、これまでに学習した知識等を基にして考察を進め、一般的な方略などを見つけて、それを適切に表現する。)								
主な学習計画	1年間の学習	○式と証明 ○図形と方程式 ○指数関数と対数関数 ○複素数と方程式 ○三角関数 ○微分法と積分法							
教科書副教材等	104	数研	数Ⅱ329	『改訂版 新編 数学Ⅱ』(数研出版)					
	『書き込み式シリーズ 改訂版 Study-Up ノート 数学Ⅱ』(数研出版)								
留意事項	○「数学Ⅰ」に比べて内容がかなり難しくなるので、「数学Ⅰ」での習熟度別クラスが発展クラスであることが望ましい。 ○「数学A」を履修済み、または同時登録していることが望ましい。さらに、理系進学希望者は今後「数学B」を履修することが望ましい。 ○平成30年度から教科書が変わっているため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「数学Ⅰ」を修得済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『白チャート』『黄チャート』(数研出版)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学B	2	自由選択	講義・演習	30	-	-	○	○
学習目標	○確率分布と統計的な推測、数列又はベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。 ○事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を身に付ける。(ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、これまで学習した知識等を基にして一般的な方略などを見だし、それをういて適切に処理するとともに、数学的によりよく表現する。)								
主な学習計画	1年間の学習	○平面上のベクトル ○空間のベクトル ○数列 または ○確率分布と統計的な推測 ※単位数の関係ですべてを扱うことが難しいため、生徒の実態等に応じて2つの内容から、適宜選択して履修する。							
教科書副教材等	104	数研	数B327	『改訂版 新編 数学B』(数研出版)					
	『書き込み式シリーズ 改訂版 Study-Up ノート 数学B』(数研出版)								
留意事項	○「数学Ⅰ」に比べて内容がかなり難しくなるので、「数学Ⅰ」での習熟度別クラスが発展クラスであることが望ましい。 ○「数学A」「数学Ⅱ」を修得済み(または見込み)であることが望ましい。 ○理系進学希望者向けの科目である。 ○平成30年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「数学Ⅰ」を修得済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『黄チャート』(数研出版)								

# 理科

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次	
理科	科学と人間生活	2	選択必履修	講義・実験・実習	20	■	▼	▼	●	
学習目標	<p>○日常生活と科学の関係に対する関心や探究心を持ち、科学的に探究する能力と態度を身に付ける。</p> <p>○日常生活の様々な自然現象を広い視野で捉え、科学的な判断ができるようになる。</p>									
主な学習計画	1年間の学習	<p>○生命の科学(生物と光 または 微生物とその利用)</p> <p>○物質の科学(材料とその再利用 または 衣料と食品)</p> <p>○光や熱の科学(光の性質とその利用 または 熱の性質とその利用)</p> <p>○宇宙や地球の科学(身近な天体と太陽系における地球 または 身近な自然景観と災害)</p>								
教科書副教材等	2	東書	科人306	『改訂 科学と人間生活』(東京書籍)						
	『ニューサポート 改訂 科学と人間生活』(東京書籍)									
留意事項	<p>○卒業までに次の①②どちらかの組み合わせで履修する必要がある。</p> <p>①「科学と人間生活」1科目+「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目を選択</p> <p>②「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目を選択</p>									
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						<p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>			
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上である。									
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。									
オススメ図書	『科学雑誌 Newton(別冊でもよい)』(株式会社ニュートンプレス)									

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次	
理科	物理基礎	2	選択必履修	講義・実験・実習	20	-	▼	▼	●	
学習目標	<p>○自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を養う。</p> <p>○基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成する。</p> <p>○自然界の法則をよく知ることにより、現代社会を広い視野で捉え、科学的な判断ができるようになる。</p>									
主な学習計画	1年間の学習	<p>○物理量の測定と表し方</p> <p>○物体の運動…運動の表し方、力、運動の法則</p> <p>○エネルギー…運動とエネルギー、熱とエネルギー</p> <p>○波…波の性質、音と振動</p> <p>○電気…電流の流れ方、電気の利用</p> <p>○人間と物理…エネルギーとその利用、物理学が拓く世界</p>								
教科書副教材等	7	実教	物基314	『高校物理基礎 新訂版』(実教出版)						
	『アクセスノート 物理基礎 改訂版』(実教出版)									
留意事項	<p>○卒業までに次の①②どちらかの組み合わせで履修する必要がある。</p> <p>①「科学と人間生活」1科目+「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目を選択</p> <p>②「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目を選択</p> <p>○二次関数や三角比など「数学Ⅰ」の内容を十分理解していることが必要である。</p>									
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						<p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。									
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。									
オススメ図書	『これが物理学だ！マサチューセッツ工科大学「感動」講義』(文藝春秋)									

# 理科

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
理科	化学基礎	2	選択必修	講義・実験・実習	20	■	▼	▼	●		
学習目標	<p>○物質の性質や変化について関心を持ち、観察・実験を通して科学的に探究する方法や態度を身に付ける。</p> <p>○化学の基本的な概念や原理・法則について理解し、科学的な見方や考え方ができるようになる。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○物質の探究(物質の性質と分離、物質にお成分 他)</p> <p>○物質の構成粒子(原子の構造、電子配置と周期表 他)</p> <p>○物質と化学結合(イオンとイオン結合、金属と金属結合、分子と共有結合 他)</p> <p>○物質と化学変化(物質の表し方、化学反応の量的関係 他)</p> <p>○酸と塩基(酸・塩基の定義、水素イオン濃度、中和反応、中和滴定 他)</p> <p>○酸化と還元(酸化・還元の定義、酸化還元反応とその利用 他)</p>									
教科書副教材等	7	実教	化基317	『高校化学基礎 新訂版』(実教出版)						『カラーノート新訂版』(実教出版)	
留意事項	<p>○卒業までに次の①②どちらかの組み合わせで履修する必要がある。</p> <p>①「科学と人間生活」1科目+「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目を選択</p> <p>②「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目を選択</p> <p>○学習内容に計算やグラフ等を扱うものも含まれるため、数学的な基本知識が必要である。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次以上である。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『科学雑誌 Newton(別冊でもよい)』(株式会社ニュートンプレス)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
理科	生物基礎	2	選択必修	講義・実験・実習	20	■	▼	▼	●		
学習目標	<p>○生物や生命現象のもつ多様性を踏まえ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。</p> <p>○遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対する興味・関心を高める。</p> <p>○観察・実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○生物と遺伝子…生物の特徴・遺伝とその働き</p> <p>○生物の体内環境の維持…生物の体内環境</p> <p>○生物の多様性と生態系…植生の多様性と分布・生態系とその保全</p>									
教科書副教材等	2	東書	生基311	『改訂 生物基礎』(東京書籍)						『サイエンスビュー生物総合資料』(実教出版) 『改訂 Let's Try Note 生物基礎』(東京書籍)	
留意事項	<p>○卒業までに①②どちらかの組み合わせで履修する必要がある。</p> <p>①「科学と人間生活」1科目+「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目を選択</p> <p>②「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目を選択</p> <p>○「生物の体内環境の維持」では解剖実習を行う場合がある。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次以上である。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『おもしろい! 進化のふしぎ ざんねないいきもの事典』(高橋書店)										

# 理科

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	地学基礎	2	選択必履修	講義・実験	20	-	▼	▼	●
学習目標	○自然に対する関心や探究心を高め科学的に探究する能力と態度を育てる。 ○基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成する。 ○地学的な事物・現象をよく知るにより、科学的な判断をくだせるようになる。								
主な学習計画	1年間の学習	○私たちの宇宙…宇宙の構造と進化、太陽と惑星 ○地球の変遷と生物の進化…生命の変遷、地層や岩石の観察 ○私たちの地球…大地とその動き、地震、火山、大気と海洋 ○私たちの地球のこれから…地球環境の考え方、自然環境の変動、日本の自然環境、これからの地球							
教科書副教材等	2	東書 地基306	『改訂 地学基礎』(東京書籍) 『ニューサポート 改訂 地学基礎』(東京書籍)						
留意事項	○卒業までに次の①②どちらかの組み合わせで履修する必要がある。 ①「科学と人間生活」1科目+「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目を選択 ②「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目を選択								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『青木の地学基礎をはじめからていねいに』(青木秀紀, 東進ブックス)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	物理演習	2	自由選択	講義・演習	30	-	-	○	○
学習目標	○物理的な事物・事象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。理系への進学後に必要となる知識・技能を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○様々な運動…運動量と力積、円運動と単振動、万有引力、気体分子運動 ○波動…波の性質、音の性質、光の性質 ○電気と磁気…電界と磁界、電流、電流と磁界、電磁誘導と電磁波 ○原子・分子の世界…電子と光、原子・原子核・素粒子							
教科書副教材等	183	第一 物理316	『高等学校 改訂 物理』(第一学習社) 『リード α物理基礎・物理』(数研出版)						
留意事項	○「物理」での一般受験者向けの科目で、相当量の家庭学習を必要とする。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「物理基礎」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『大入試 坂田アキラの物理基礎・物理の解法が面白いほどよくわかる本[力学・熱力学編]/[電磁気・波動・原子編]』(KADOKAWA)								



# 理科

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	化学演習	2	自由選択	講義・実験・実習	30	-	○	○	○
学習目標	○化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。看護医療系や理系への進学後に必要となる知識・技能を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○物質の性質、結合と結晶、極性 ○無機化合物 ○化学反応式と量的関係 ○中和反応、酸化還元反応と演習 ○気体の法則 ○有機化合物							
教科書副教材等	2	東書	化学309	『改訂 新編化学』(東京書籍) 『Let's Try Note Vol.4 改訂版 有機化学』(東京書籍) 『化学基礎の徹底暗記&ドリル 改訂版』(啓林館)					
留意事項	○「化学」での一般受験者向けの科目で、相当量の家庭学習を必要とする。 ○進度が速く、指数関数の計算力も必要である。 ○誤った方法で実験を行うと、自分だけでなく周囲の人にも危険が及ぶことがあるので、説明をしっかりと聞いて、実験のねらいや方法を理解できる人が履修すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「化学基礎」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『総合的研究 化学(化学基礎・化学)』(妻木 貴雄)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	生物演習	2	自由選択	講義・実験・実習	30	-	○	○	○
学習目標	○生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。								
主な学習計画	1年間の学習	○生命現象と物質…細胞と分子・代謝・遺伝子情報の発現 ○生殖と発生…動植物の配偶子形成から形態形成 ○生物の環境応答…動物の反応と行動・植物の環境適応 ○生態と環境…生物群集と生態系 ○生物の進化と系統…生命の起源と進化・生物の系統							
教科書副教材等	183	第一	生物311	『高等学校 改訂 生物』(第一学習社) 『セミナー生物基礎+生物』(第一学習社) 『サイエンスビュー生物総合資料』(実教出版)					
留意事項	○受験で「生物基礎」「生物」を選択する、又は進学先で「生物」の内容が必要な者向けの講座。 ○「生物基礎」よりも内容が高度であり、進度が速い。 ○自宅での予習・復習が必要である。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「生物基礎」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『カラー図解でわかる高校生物超入門』(SB クリエイティブ サイエンス・アイ新書) 『マンガ生物学に強くなる(ブルーバックス)』(渡邊 雄一郎(監修), 講談社)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	栽培と飼育	2	自由選択	講義・実験・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○植物栽培・動物飼育の技能を身に付け、知識を深める。 ○植物栽培・動物飼育を通して、生命を尊重する態度を身に付ける。 ○栽培植物・飼育動物が、人の生活とどのように関わっているのか、理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習	○動物飼育・植物栽培について実際に実習をしながら学んでいく。 ○農地の整備や飼育用具の準備。小麦・ジャガイモなどの収穫。 ○イネの栽培。除草・害虫駆除。小動物の飼育など基本的技能について、体験を通して学ぶ。 ○小麦の栽培、サツマイモの収穫を行う。また、栽培植物の生活への利用について学ぶ。 ○飼育動物と人の生活との関わりについて学ぶ。 ○植物栽培・動物飼育に関するレポートをまとめる。							
教科書副教材等	教材プリント(作業マニュアル、レポート)など								
留意事項	○基本的な学習用品(ノート・筆記具)の他に、色鉛筆(12色以上)・軍手・長靴・作業着は各自で準備する。 ○飼育栽培という作業に積極的に取り組むことが、最も求められる。泥に汚れたり、虫を取ったり等の作業も含まれるので、それらについても意欲的に取り組む覚悟が必要。また、飼育や栽培の失敗(死亡や枯死)などに遭遇することもあるので、そのような事態に対しても前向きに接する覚悟も必要である。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『一農についての知識を深めよう—日本農業検定 3級テキスト』(日本農業検定 事務局) 『その道のプロに聞く ふつうじゃない生き物の飼いかた』(松橋利光)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	環境基礎	2	自由選択	講義・実験・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○地球の歴史やその成因を含めた考察を通して、現在の地球環境を多角的に見る力を身に付ける。 ○環境問題に関する基礎的な知識を習得し、環境に対する見方や考え方を学ぶ。 ○人間生活と地球環境の関連、資源の活用などの学習を通して環境保全についての意識をもつ。								
主な学習計画	1年間の学習	○地球環境と生物の適応    ○地球環境の構成要素    ○環境調査とその方法 ○様々な環境問題の原因と対策    ○人間の営みと地球環境への影響 ○環境問題とその相互作用    ○エネルギーの現状と資源の活用 ○SDGsとの関連を含め、地球環境を自分ごとにとらえ、今何ができるか考えていく。							
教科書副教材等	独自プリント使用(プリントをファイルするものが必要) 副教材については未定								
留意事項	○基本的な学習用品が必要である。 ○グループでのディスカッションや発表が多く、自身の考えやその理由をまとめる力が最低限必要になる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『改訂7版 環境社会検定試験(eco 検定)公式テキストB5版』(日本能率協会マネジメントセンター)								

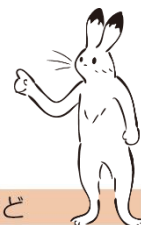
教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
理科	防災技術	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○災害に対する正しい知識を得る。 ○防災に関する知識や知恵を幅広く学ぶ。 ○救命法など防災に関する技術を習得する。								
主な学習計画	1年間の学習	○東日本大震災の教訓…避難三原則、心のケアと防災心理 ○阪神・淡路大震災の教訓…挟まれた人の救出法、クラッシュシンドローム、トリアージ ○建物被害…家具類の固定法、家具の配置の原則、耐震診断 ○火災被害…消火の基本、フラッシュオーバーと煙、火災に対する震災時の心得 ○救急救命法…搬送法、胸骨圧迫の方法、AEDの使用法、応急手当							
教科書副教材等	独自プリント教材使用								
留意事項	○実習の際、体操服を着用することがある。また、教材により実費がかかることがある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『自衛隊防災BOOK』(マガジンハウス)								

授業選択の話①

卒業に必要な条件 (卒業要件)

卒業の認定は、次の各項をともに満たしたときに行います。(学校生活の手引きから引用)

- (1) 教科・科目の修得単位数の合計が74単位以上であること。(LHRは含まない)
- (2) 本校を含めた高等学校での修業が、通算3年間以上であること。
- (3) 定められた必履修科目および学校必履修科目を、本校の規定にしたがってすべて履修していること。
- (4) 本校に半年以上在籍し、9単位以上(含ホームルーム)履修登録していること。
- (5) 特別活動(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)の成果がその目標から見て満足できると認められること。
- (6) 授業料の未納がないこと。



※卒業に必要な「必履修科目」および「学校必履修科目」

教科	科目名	単位数	教科	科目名	単位数	条件など
国語	国語総合	4	理科	科学と人間生活	4 または 6	①「科学と人間生活」と★のついた科目1科目 または ②★のついた科目3科目を履修していること。
地理歴史	世界史A	2		物理基礎★		
	日本史A	2		化学基礎★		
公民	現代社会	2		生物基礎★		
数学	数学I	3		地学基礎★		
保健体育	体育	7	芸術	音楽I	2	いずれか1科目2単位を履修していること。
	保健	2		美術I		
外国語	コミュニケーション英語I	3	総合的な探究の時間	人間と社会(奉仕)	3	3単位を履修していること。(12期生までは「総合的な学習の時間」)
家庭	家庭基礎	2		キャリア教育		
情報	社会と情報	2				

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
保健体育	体育1	2	必修	実習(実技)	—	▽	再	再	再		
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。										
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団活動(整列・体操)</li> <li>○体育理論</li> <li>○体づくり運動(体ほぐしの運動、体力を高める運動)</li> <li>○器械運動・水泳・陸上競技から1種目選択</li> <li>○球技(対人的種目)</li> <li>○持久走、なわとび</li> </ul>									
教科書副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。</li> <li>○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。</li> <li>○装飾品は身に付けないこと。</li> <li>○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。</li> </ul>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新入生、または現在1年次以上で「体育1」未履修(または見込み)。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した										
オススメ図書	『硬い体が驚くほど気持ちよく伸びる自重ストレッチ』(比嘉一雄)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
保健体育	体育2	2	必修	実習(実技)	—	-	▽	再	再		
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。										
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団活動(整列・体操)</li> <li>○体育理論</li> <li>○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション)</li> <li>○陸上競技</li> <li>○武道・水泳・ダンスから1種目選択。</li> <li>○球技(対人的種目・集团的種目)</li> <li>○持久走、なわとび</li> </ul>									
教科書副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。</li> <li>○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。</li> <li>○装飾品は身に付けないこと。</li> <li>○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。</li> </ul>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次、または現在2年次以上で「体育2」未履修(または見込み)。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『自宅でできる自重筋カトレーニング』(荒川裕志)										

# 体育

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
保健体育	体育3	2	必修	実習(実技)	—	—	—	▽	再
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習 ○体育理論 ○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション) ○対人的種目 ○集団的種目 ○水泳・トレーニングから1種目選択 ○持久走、なわとび								
教科書副教材等	50 大修館 保体304 『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店) 『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)								
留意事項	○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。 ○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。 ○装飾品は身に付けないこと。 ○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次、または現在3年次以上で「体育3」未履修(または見込み)。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『体幹力を上げるコアトレーニング』(木場克己)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
保健体育	体育4	2	必修	実習(実技)	—	—	—	—	▽
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習 ○体育理論 ○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション) ○対人的種目 ○集団的種目 ○持久走、なわとび								
教科書副教材等	50 大修館 保体304 『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店) 『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)								
留意事項	○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。 ○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。 ○装飾品は身に付けないこと。 ○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在3年次、または現在4年次で「体育4」未履修(または見込み)。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 体育をすでに7単位履修済みの生徒は、履修しなくてもよい。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『スポーツがうまくなる！！身体の使い方、鍛え方』(谷本道哉)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
保健体育	保健1	1	必修	講義	—	▽	再	再	再		
学習目標	○「健康とは何か」を考え、「わが国の健康問題」を身近な問題として捉える中で、自己の生活習慣や生活環境を見直して、心身ともに健康な生活を送る知識と能力を養う。										
主な学習計画	1年間の学習 ○わが国における健康水準の向上 わが国の健康問題の変化 ○健康のとらえ方 健康と意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり ○生活習慣病とその予防 健康の基本(食事・運動・睡眠) ○喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 ○欲求と適応機制 心身相関 ストレスへの対処 自己実現 ○交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質と責任 ○防災について ○心肺蘇生法										
教科書 副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)	
留意事項	○週1時間(1単位)の科目なので、欠席が成績にとっても大きく影響する。										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生入生、または現在1年次以上で「保健1」未履修(または見込み)。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した										
オススメ図書	『健康科学の視点に立った生活習慣病の一次予防』(川久保清)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
保健体育	保健2	1	必修	講義	—	-	▽	再	再		
学習目標	○生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること、及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。また、社会生活における健康の保持増進には環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。										
主な学習計画	1年間の学習 ○現代の感染症、感染症の予防 ○性感染症・エイズとその予防 ○思春期と健康、性意識と性行動の選択 ○結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶 ○応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 ○加齢と健康、高齢者のための社会的取り組み ○保健制度・医療制度とその活用、医薬品と健康 ○大気・水質・土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動 ○食品衛生活動のしくみと働き、食品と環境の保健と私たち ○働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活										
教科書 副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)	
留意事項	○週1時間(1単位)の科目なので、欠席が成績にとっても大きく影響する。										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次、または現在2年次以上で「保健2」未履修(または見込み)。										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『LGBTを知る』(森永貴彦)										

# 体育

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1	2	3	4	
						年次	年次	年次	年次	
保健体育	体育 α	1	必履修	実習(実技)	10	-	-	▽	-	
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。									
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育理論</li> <li>○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション)</li> <li>○対人的種目</li> <li>○集团的種目</li> </ul>								
教科書副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。</li> <li>○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。</li> <li>○装飾品は身に付けられないこと。</li> <li>○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。</li> </ul>									
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。									
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次で、3年卒業予定である(「キャリアサクセス」も登録する)。									
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。									
オススメ図書	『スポーツがうまくなる！！身体の使い方、鍛え方』(谷本道哉)									

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1	2	3	4	
						年次	年次	年次	年次	
保健体育	スポーツ1	2	自由選択	実習(実技)	15	-	○	○	○	
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。									
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育理論</li> <li>○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション)</li> <li>○個人的種目</li> <li>○対人的種目</li> <li>○集团的種目</li> </ul> *レクリエーションスポーツを含む								
教科書副教材等	50	大修館	保体304	『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店)						『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。</li> <li>○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。</li> <li>○装飾品は身に付けられないこと。</li> <li>○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。</li> </ul>									
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。									
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。									
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。									
オススメ図書	『スポーツがうまくなる！！身体の使い方、鍛え方』(谷本道哉)									

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
保健体育	スポーツ2	2	自由選択	実習(実技)	15	-	○	○	○
学習目標	○運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習 ○体育理論 ○体づくり運動(柔軟体操、ストレッチ、リラクゼーション) ○対人的種目 ○集団的種目 * 専門性・競技性の高い内容								
教科書 副教材等	50 大修館 保体304 『現代高等保健体育改訂版』(大修館書店) 『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店)								
留意事項	○授業には、見学する者を含め全員、指定された体操着で参加する。 ○屋外は、ゴム底の運動靴、屋内は、指定された体育館履きを履くこと。 ○装飾品は身に付けられないこと。 ○爪は短く切り、髪の毛の長い者は、ゴムで束ねること(金属製不可)。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「体育1」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『スポーツがうまくなる!! 身体の使い方、鍛え方』(谷本道哉)								

授業選択の話②

「登録」「履修」「修得」それぞれの違いわかりますか？

シラバスには「登録」「履修」「修得」が何度も出てきます。その違いを確認しておきましょう。

(学校生活の手引きにも載っています)

**登録** … 授業登録のこと。登録していない科目の授業には参加できません。

**履修** … 登録した科目の授業を受け、出席が基準を満たすこと。本校では、年度末に行われる成績会議で、各科目の年間の法定授業時数(1単位 35時間)の3分の2以上の出席をもって履修を認めます。

各科目の欠課時数が3分の1を超えると履修は認められず未履修になります。

必修科目が未履修になると、履修できるまで再履修が必要です。

**修得** … 履修が認められた科目の学習成果が科目の目標に達している(評定が2以上)場合に単位修得が認定されます。卒業には74単位の修得が必要です。

\* 評定2～5 : 履修○、修得○

(科目の目標を達成しているため、単位の修得が認定されます。)

\* 評定1 : 履修○、修得×

(履修は認められますが、学習成果が不十分であるため修得は認定されません。)

★この用語説明は、あくまで「学校内ではこういう意図で用語を使い分けているよ」という意味です。奨学金の計算など、場合によっては言葉の意味が違う場合がありますので注意が必要です。





# 芸術

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
						■	▼	●	●
芸術	音楽Ⅰ	2	選択必履修	講義・実習	30	■	▼	●	●
学習目標	<p>○音楽の幅広い活動を通して、思いや意図をもって表現したり鑑賞する力を育てる。</p> <p>○生涯にわたって音楽に親しんでいくための基礎となる力を育てる。</p> <p>○日本及び世界の様々な音楽に触れ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、広い視野で音楽を捉えられるようにする。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○歌唱：独唱、斉唱、少人数のアンサンブル、合唱を通して、日本語や外国語の歌詞を味わい曲種に応じた発声に気を付けて表現する。</p> <p>○器楽：アルトリコーダーやクラシック・ギターの基礎的な奏法を身に付け、独奏や重奏を行う。声や楽器、身体表現を用いた様々なアンサンブルを体験する。</p> <p>○鑑賞：オーケストラ入門、オペラ・ミュージカル作品、音楽を題材にした映画を鑑賞する。</p>							
教科書副教材等	89	友社	音Ⅰ312	『改訂版 ON! 1』(音楽之友社)					
留意事項	<p>○他の芸術科目Ⅰと同時履修はできない。</p> <p>○実技が中心となるため、出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に実技試験を実施する。</p> <p>○卒業するためには「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と意事項をよく読み理解した。</p>								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
						-	○	○	○
芸術	音楽Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	30	-	○	○	○
学習目標	<p>○「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、さらに奥深い表現の能力と主体的な鑑賞の能力を育てる。</p> <p>○生涯にわたって豊かな音楽活動をするための基礎となる力を確実に身に付ける。</p> <p>○多種多様な音楽に興味・関心をもって深く味わい、音楽の文化的、歴史的背景についても学ぶ。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○歌唱：日本語、外国語の歌曲を通して、正しい発声法を身に付ける。歌詞の内容を理解しメロディやリズムとの関わりを理解して表現する。視唱力の伸長を図る。</p> <p>○ソルフェージュ：視唱、リズム打ち</p> <p>○楽典：コードのしくみを学習し、キーボードでの基本的なコードの押さえ方を覚える。</p> <p>○器楽：クラシック・ギター、キーボードの基本的な奏法を身に付け、独奏、弾き語りを行う。</p> <p>○鑑賞：ミュージカル作品を鑑賞し、音楽の社会的背景や歴史についても学ぶ。</p>							
教科書副教材等	89	友社	音Ⅱ312	『改訂版 ON! 2』(音楽之友社)					
留意事項	<p>○「音楽Ⅰ」を履修していること。</p> <p>○実技が中心となるため出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に実技試験を実施する。</p> <p>○「音楽Ⅰ」と比較し、さらに意欲的、主体的に取り組む姿勢が必要。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「音楽Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
芸術	音楽Ⅲ	2	自由選択	講義・実習	30	-	-	○	○	
学習目標	<p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の学習を基礎にして、さらに自分の適性や興味・関心に応じた活動を展開し、自分なりの表現の能力、鑑賞の能力を高める。</p> <p>○様々な音楽活動を通して感性を磨き、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。</p> <p>○多種多様な音楽に興味・関心をもって深く味わい、音楽文化を尊重する態度を身に付ける。</p>									
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	<p>○歌唱：独唱、少アンサンブル、合唱を通して表現意図をもって創造的に歌う能力を高める。</p> <p>○ソルフェージュ：視唱、聴音</p> <p>○楽典：楽曲の形式、音階について学習し、創作を行う。</p> <p>○器楽：リコーダー、ギター、キーボードによるソロ、アンサンブルを行う。</p> <p>○鑑賞：声にスポットを当てた鑑賞、現代音楽の鑑賞を通して音楽の多様な価値について理解を深める。</p>								
教科書 副教材等	17	教出	音Ⅲ304	『音楽Ⅲ 改訂版』(教育出版)						
留意事項	<p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を履修していること。</p> <p>○実技が中心となるため出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に実技試験を実施する。</p> <p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」よりもさらに意欲的、主体的に取り組む姿勢が必要。</p>									
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>									
履修条件 セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を履修済み(または見込み)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>									

音楽の オススメ図書 (すべて共通)	『成功する音楽家の新習慣～練習・本番・身体の戦略的ガイド』(ジェラルド・クリックスタイン) 『ボクの音楽武者修行 改訂』(小澤征爾) 『ウルトラセブンが「音楽」を教えてくれた』(青山通)
--------------------------	---



# 芸術

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	美術Ⅰ	2	選択必修	講義・実習	25	■	▼	●	●
学習目標	<p>○絵画、彫塑、デザイン、映像メディアなど幅広い表現から観察力や想像力を養い、多様な表現技法を身に付ける。</p> <p>○参考資料や映像などから様々な表現の作品鑑賞を行い、豊かな情操を養う。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>○用具の使い方、特性理解 ○絵画：鉛筆デッサン ボールペン画</p> <p>○デザイン：色彩構成</p> <p>○立体カード制作</p> <p>○鑑賞</p> <p>&lt;社会体験実習&gt;夏季休業中に美術館見学予定(希望者のみ)</p>								
教科書副教材等	<p>38 光村 美Ⅰ304 『美術1』(光村図書出版)</p>								
留意事項	<p>○他の芸術科目Ⅰと同時履修はできない。</p> <p>○実習に伴う道具等は学校側で準備する。</p> <p>○消耗品と材料費として2,500円程度を年次会計から支出する。再履修などで年次会計から支出できない場合は、履修登録時に教材費を納める。</p> <p>○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 令和3年度新入生、または現在1年次以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『西洋美術史入門』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	美術Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○長期的な計画のもとに様々な造形活動を行う。「美術Ⅰ」の表現に対する理解をさらに深め、主体的に表現技法を選択し、発表できる能力を養う。</p> <p>○鑑賞から絵画・デザインの在り方について理解を深める。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>○鉛筆デッサン</p> <p>○油彩画制作</p> <p>○立体作品制作</p> <p>○鑑賞</p> <p>&lt;社会体験実習&gt;夏季休業中に美術館見学予定(希望者のみ)</p>								
教科書副教材等	<p>38 光村 美Ⅱ303 『美術2』(光村図書出版)</p>								
留意事項	<p>○「美術Ⅰ」を履修していること。</p> <p>○実習に伴う道具等は学校側で準備する。</p> <p>○消耗品と材料費として4,500円程度を個別に徴収する。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「美術Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『西洋美術史入門』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社) 『油絵初級レッスン』(早坂優子)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	工芸Ⅰ	2	選択必修	講義・実習	20	■	▼	●	●
学習目標	○工芸の制作活動を通して、ものをつくる楽しさを味わう。 ○工芸作品を鑑賞し、生活を豊かにする工芸の在り方について理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習	○様々な素材の加工体験 ○立体デザインの基礎を学ぶ							
教科書副教材等	116	日文	工Ⅰ301	『工芸Ⅰ』(日本文教出版)					
留意事項	○他の芸術科目Ⅰと同時履修はできない。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備。材料は教材費より購入。 ○消耗品と材料費として2,500円程度を年次会計から支出する。再履修などで年次会計から支出できない場合は、履修登録時に教材費を納める。 ○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上。 <input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。 <input type="checkbox"/> 安全に留意して作業することができる。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『手仕事の日本』(岩波文庫)								



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	工芸Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○「工芸Ⅰ」での基礎を基に、「使う」という工芸の意図を考えた作品づくりを行う。 ○工芸作品に触れ親しみ、工芸の多様な表現の技法を身に付けるとともに感性を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○1学期1つ以上の素材加工技術の習得 ○「工芸Ⅰ」で学んだ立体デザインの基礎をふまえ、自身のデザインを形にする							
教科書副教材等	116	日文	工Ⅱ301	『工芸Ⅱ』(日本文教出版)					
留意事項	○「工芸Ⅰ」を履修していること ○消耗品と材料費として4,000円程度を個別に徴収する予定。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「工芸Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『踊る町工場-伝統産業と人をつなぐ「能作」の秘密』(能作克治)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	書道Ⅰ	2	選択必履修	講義・実習	30	■	▼	●	●
学習目標	書道に興味をもち、実技、作品鑑賞を通して表現力と感性を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○毛筆:楷書(漢字仮名交じり)、行書の基本 ○硬筆:楷書 ○細字:平仮名の学習 ○創作:うちわ制作、漢字作品							
教科書副教材等	2	東書	書Ⅰ305	『書道Ⅰ』(東京書籍)					
留意事項	○他の芸術科目Ⅰと同時履修はできない。 ○実習にともなう材料は、学校が教材費から購入する。 ○書道道具は半紙も含め、各自で準備をする。 ○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上。 <input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」と同時に履修登録していない。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

芸術

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	書道Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	30	-	○	○	○
学習目標	○「書道Ⅰ」で修得した技能をもとに、より高度な表現能力を身に付け、書を愛好する心情を育む。 ○書の文化や伝統についての理解を深め、鑑賞能力を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○毛筆:篆書、草書、行書 ○硬筆:漢字仮名交じり ○創作:ガラス文鎮、篆刻 ○生活の中の書:看板、原稿、歌碑、絵はがき							
教科書副教材等	2	東書	書Ⅱ305	『書道Ⅱ』(東京書籍)					
留意事項	○消耗品と材料費として2,000円程度を個別に徴収する予定。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「書道Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	素描	2	自由選択	講義・実習	20	○	○	○	○
学習目標	○対象をじっくりと観察し、客観的なものの見方を身に付け表現する力を養う。 ○美術系進学に向けて必要なデッサン力を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○静物画デッサン(鉛筆) ○石膏デッサン(木炭・鉛筆) ○構成デッサン(鉛筆)など ○作品鑑賞 〈社会体験実習〉夏季休業中に美術館見学予定(希望者のみ)							
教科書副教材等	独自プリント使用								
留意事項	○デッサンに興味・関心が高く、集中して制作できる生徒が対象となる。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備する。 ○消耗品と材料費として 1,500 円程度を個別に徴収する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 令和3年度新入生、または現在1年次以上。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『鉛筆画初級レッスン』『代ゼミの石膏デッサン教室』(内田広由紀)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	絵画表現	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○絵画の歴史と技法について理解し、絵画表現への興味・関心を高める。 ○絵画制作を通じて自らのアイデンティティーを自覚し、自己表現することの楽しさを知る。 ○用具や技法について理解し表現力の向上を図る。								
主な学習計画	1年間の学習	○日本画制作 基本的な道具の使い方 基本的な技術習得(胡粉・水干絵具の扱い方) ○油彩画制作 基本的な道具の使い方から発展した内容まで ○版画制作 ○作品鑑賞 〈社会体験実習〉夏季休業中に美術館見学予定(希望者のみ)							
教科書副教材等	38	光村	美Ⅱ303	『美術2』(光村図書出版)					
留意事項	○「美術Ⅰ」か「素描」を履修していること。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備する。 ○消耗品と材料費として 4,500 円程度を個別に徴収する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「美術Ⅰ」もしくは「素描」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『絵画の見かた』『西洋美術史入門』『油絵初級レッスン』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社) 『日本画ノート・基礎』(視覚デザイン研究所)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	基礎デザイン	2	自由選択	講義・実習	25	-	○	○	○
学習目標	○視覚伝達デザインの基礎を学び、描画ソフト(Adobe Illustrator)を用いて作品を制作する。 ○ビジュアルデザイン及び映像メディア表現の基礎的な技法と知識を身に付け、興味関心に合わせてそれらの科目を履修できるようになる。								
主な学習計画	1年間の学習	○伝達デザインについて ○デザインの基礎的表現・技法 ○イラストレーターを使った作品制作 ○ストップモーション作品制作(デジタルカメラを使用したショートムービー制作) ○アニメーション作品制作(手描きショートアニメーション制作) ○鑑賞・作品発表							
教科書副教材等	『なるほどデザイン目で見ても楽しむデザインの本』(MdN コーポレーション)								
留意事項	○パソコンでの作品制作、美術やデザインに興味関心が高い生徒が対象となる。 ○中間モニターを用いての講義・実技指導が中心となる。 ○実技が中心になるので、出席、授業態度が重視される。 ○3年次以降に「ビジュアルデザイン」や「映像表現」を履修したい人は、必ず履修すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 芸術に対する興味・関心・意欲を持っている。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『やさしいデザイン 誰でもかんたん、レイアウト・配色・文字組』(武田 瑛夢)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	ビジュアルデザイン	2	自由選択	講義・実習	25	-	-	○	○
学習目標	○基礎デザインで学んだことをもとに、より発展的な視覚伝達デザインについて学ぶ。 ○描画ソフト(Adobe Illustrator・Photoshop)を用いた制作を行う。								
主な学習計画	1年間の学習	○学校紹介ポスター制作 ○稔祭(文化祭)ポスター制作 ○プロダクトデザイン(ブックカバーデザイン・パッケージデザイン等) ○イラストレーション制作							
教科書副教材等	『世界一わかりやすいIllustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書 CC/CS6 対応版』(技術評論社)								
留意事項	○「基礎デザイン」を履修していること。 ○実技が中心になるので、出席、授業への参加態度が重視される。 ○根気強くデザインを練り上げ、時間をかけて作品を仕上げる必要がある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「基礎デザイン」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ノンデザイナーズ・デザインブック』(Robin Williams)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	映像表現	2	自由選択	講義・実習	25	-	-	○	○
学習目標	○映像表現の基礎的な知識について学ぶ。 ○映像作品の自主制作ができるようになる。 ○多様な映像作品を鑑賞し、創造的な能力を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○映像の基礎知識(絵コンテ、音入れ(アフレコ)、制作スケジュール等) ○デジタルビデオカメラによる撮影と編集(短編の映像作品) ○映像編集ソフトの活用方法 ○映像メディア作品の鑑賞 ○自主映像作品制作(短編アニメーション制作)							
教科書 副教材等	独自プリント教材使用								
留意事項	○「基礎デザイン」を履修していること。 ○映像分野で活躍されている市民講師の先生が本校教員とともに授業を進める。専門的な技術指導を行うため積極的な授業参加が求められる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「基礎デザイン」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『創作アニメーション入門基礎知識と作画のヒント』(山村 浩二)								

芸術

授業選択の話③

授業以外で単位を修得する方法 ～マイレージ・技能審査・高認～

授業以外では次のような方法で単位が修得できます。

詳しくは学校生活の手引きに載っています。(ほとんど事前に申請が必要です。)

担任の先生に相談しながら、計画的に単位を修得しましょう。

〔1〕社会体験活動(マイレージ)

以下の活動の累積時間が1575分たまると1単位認定されます。

- ① 進路体験期間
- ② 進路体験活動
- ③ 社会体験実習
- ④ 検定対策講座
- ⑤ ボランティア活動

〔2〕技能審査

在学中に取得(合格)した場合に増加単位として認定されます。

(対応する科目の修得が必要です。未修得の場合は増加単位の認定もされません。)

例：日本漢字能力検定2級合格 ⇒ 「国語総合」など3単位分増加単位認定

簿記検定1級合格 ⇒ 「簿記」に4単位分増加単位認定

(「簿記」は4単位なので、あわせて8単位!)

★学校生活の手引きにいろいろ掲載されています。単位が多いほど難しいですよ!

〔3〕高等学校卒業程度認定試験(高認)

手続きが必要です。必ず担任の先生に相談してください。

読み物



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	コミュニケーション英語 I	4	必修	講義・演習 【習熟度別】	—	▽	再	再	再
学習目標	<p>○日常的な話題について、英語で聞いたり読んだりして、理解できる。</p> <p>○情報や考えなどを英語で話したり聞いたりして伝える基礎的な能力を養う。</p> <p>○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>○英語の発音やつづりに慣れ、新出単語を覚える。</p> <p>○基礎英会話や洋楽を覚える。英語での質問力・応答力・作文力を鍛える。本文を聞き取り理解する力を高める。</p> <p>○教科書においては、高校生が修理した車椅子を海外に送る活動、コンビニエンスストアの工夫、マララ・ユスフザイのスピーチなどの英文を、以下の文法事項とともに学ぶ。</p> <p>文法事項 動詞の現在形、動詞の過去形、現在進行形、助動詞、不定詞、動名詞、受け身、現在完了、現在分詞、過去分詞、関係代名詞、比較級</p>								
教科書 副教材等	<p>104 数研 コ I 344 『Revised COMET English Communication I』(数研出版)</p> <p>『ベーシックノート「COMET English Communication I」』(数研出版)</p>								
留意事項	<p>○課題や小テストが多く、家庭学習にもきちんと取り組むことが必要である。</p> <p>○ALT・JET(外国人指導員)との授業も行う。</p> <p>○「コミュニケーション英語 I」は卒業までに3単位以上履修しなければならない。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト・発表等</p> <p>以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件 セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 令和3年度新生、または現在1年次以上で「コミュニケーション英語 I」未履修(または見込み)。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版) 『DataBase 3000』(桐原書店)								



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	コミュニケーション英語 II	4	自由選択	講義・演習 【習熟度別】	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p> <p>○英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <p>内容</p> <p>○宇宙での滞在</p> <p>○日本のマンガの魅力</p> <p>○垂直農場</p> <p>○目標設定</p> <p>○高校生レストラン</p> <p>○様々なモノの形</p> <p>○沖縄海洋博公園のイルカ</p> <p>○日本の業務サービス</p> <p>○気分転換</p> <p>○建築家:坂 茂</p> <p>○ネルソン・マンデラとラグビーワールドカップ</p> <p>○日本の町工場の開発</p> <p>文法</p> <p>S+V+that 節の構文</p> <p>want/ask/tell + O + to 不定詞の構文</p> <p>疑問詞(how/what/when/where)+ to 不定詞の構文</p> <p>分詞構文(現在分詞/過去分詞)</p> <p>形式主語 it の構文</p> <p>関係代名詞(what)の構文</p> <p>過去完了形(had + 過去分詞)の構文</p> <p>使役動詞(make/let/have) + O+動詞の原形の構文</p> <p>関係代名詞の継続用法(who/which)の構文</p> <p>関係副詞(when/where)の構文</p> <p>知覚動詞(hear/see/feel/watch等)の構文</p> <p>仮定法過去、仮定法過去完了の構文</p>								
教科書 副教材等	<p>104 数研 コ II 342 『Revised COMET English Communication II』(数研出版)</p> <p>『改訂版 COMET English Communication II ベーシックノート』(数研出版)</p>								
留意事項	○週4時間授業があり、課題、小テスト、発表等が多いので、十分な予習・復習が不可欠である。								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト・発表等</p> <p>以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件 セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「コミュニケーション英語 I」を履修済み(または見込み)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								
オススメ図書	『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版) 『DataBase 4500』(桐原書店)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	自由選択	講義・演習 【習熟度別】	20	-	-	○	○
学習目標	○自分の考えを簡単な英語で話したり5文以上の英文で表現する力を身に付ける。 ○英語を読んで、情報を読み取ったり、書き手の意向を理解する能力を伸ばす。								
主な学習計画	1年間の学習	○長文読解 ○リスニング ○英作文演習 ○英会話演習 ○ペアワーク ○グループワーク ○英語によるプレゼンテーション							
教科書副教材等	183 第一 コⅢ345	『Vivid English Communication Ⅲ NEW EDITION』(第一学習社) 『大学入試 ベストポイント英語頻出問題740』(桐原書店)							
留意事項	○毎回の授業時に英会話や英作文演習を行うため、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする心構えが必要である。 ○ほぼ毎回の授業において英文法テスト、または英単語テストのいずれかを実施するため、意欲的に学習に取り組む心構えが必要である。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト・発表等 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「コミュニケーション英語Ⅱ」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『英単語ターゲット 1900』『英熟語ターゲット 1000』(旺文社) 『Data Base 4500』(桐原書店) 『UPGRADE 英文法・語法問題』(数研出版) 『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	英語表現Ⅰ	2	学校必登録	講義・演習 【習熟度別】	—	-	◎	-	-
学習目標	○情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を伸ばす。 ○英語運用能力を活用して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○自己紹介を英語で表現する。 ○留学生の学校生活について英語で表現する。 ○自分自身の学校生活やクラブ活動、趣味に関する表現を学ぶ。 ○スポーツ・映画に関する事柄を英語で表現する。 ○情報・ファッションに関する表現を学ぶ。 ○家事・生活、文化祭、ホームステイ、日本文化に関する表現を学ぶ。							
教科書副教材等	183 第一 英Ⅰ337	『Vivid English Expression Ⅰ NEW EDITION』(第一学習社) ワークブック『Vivid English Expression Ⅰ New Edition WORKBOOK』(第一学習社)							
留意事項	○ペアワークやグループワーク、発表等を授業で行うので、積極的にコミュニケーションを図ろうとする心構えが必要である。 ○2年次のみ履修できる学校必登録科目。 ○現在1年次の生徒は全員登録。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト・発表等 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次である。(2年次学校必登録科目) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	英語会話	2	自由選択	講義・演習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○日常的な話題や情報について、英語を理解する能力を養う。</p> <p>○自分の気持ちや必要な情報を、英語で伝えようとする姿勢やコミュニケーション能力を養う。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○自己紹介をする。</p> <p>○学校生活を紹介する。</p> <p>○週末の出来事について説明する。</p> <p>○電話での表現を学ぶ。</p> <p>○人物を描写する。</p> <p>○将来の夢について表現する。</p>			<p>○空港・機内での表現を学ぶ。</p> <p>○道案内をする。</p> <p>○買い物の表現を学ぶ。</p> <p>○体調に関する表現を学ぶ。</p> <p>○自分の意見や考えを述べる。</p>				
教科書副教材等	61	啓林館	英会303	『Sailing English Conversation』(啓林館)					
留意事項	<p>○英語を積極的に話す、聞く、読む、書く姿勢が求められる。</p> <p>クラス内で発表する機会や自分の意見を述べる場面もあるので、失敗を恐れずに積極的に英語を使うことが重要である。</p> <p>○ALT(外国人指導員)との授業も行う。</p> <p>○予習・復習にも積極的に取り組む生徒を期待する。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 発表 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版) 『DataBase 3000』(桐原書店)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	異文化理解	2	自由選択	講義・演習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○英語を通じて、外国の事情や異文化について理解を深める。</p> <p>英語を通じて、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための能力や態度を身に付ける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○異文化に関する英文の読解やクイズ、映像鑑賞などを通じて、外国の文化・風習についての理解を深める。</p> <p>○ALTとコミュニケーションを図ることにより、自分の意見を表現できる英語力の向上を目指す。</p> <p>○調べ学習を通し、英語で発表する力を身に着ける。</p>							
教科書副教材等	独自プリント教材使用								
留意事項	<p>○異文化に興味・関心をもち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲のある生徒が望ましい。</p> <p>○基本的な英会話や、易しい英文を読むことのできる英語力が求められる。</p> <p>○ALT(外国人指導員)との授業も行う。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 発表 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『チャート式 LEARNERS' 高校英語』(数研出版) 『DataBase 3000』(桐原書店) 『Oxford Reading Tree シリーズ』(オックスフォード大学出版局)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	英語理解	2	自由選択	講義・演習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○多読三原則に沿って、洋書を大量に読んだり、聞くことで、英語を英語のまま理解し、英語運用能力を向上させる。</p> <p>○多読を通じ、外国の風習や文化について理解を深める。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○毎回の授業で英語の多読・多聴を行い、日本語または英語でブックトークを行う。</p> <p>○学期に一度、クラス全体の前で絵本の読み聞かせを行う。</p> <p>○学期に一度読んだ絵本のブックレポートの作成、POP 作成を行う。</p> <p>○WPM 測定で、英語を読むスピードを確認する。</p> <p>○読んだ絵本の内容を自分の英語で再表現するリテリングを行う。</p>							
教科書副教材等	独自プリント、洋書								
留意事項	<p>○授業で大量の本を読むことが中心になるので、出席、授業への参加態度、課題提出が重視される。</p> <p>○読むだけの活動ではなく、クラス全体での発表やグループでの意見交換も行うので、積極的に発信できる力が求められる。</p> <p>○ファイルは各自購入すること。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 読み聞かせなどの発表 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『英語多読～すべての悩みは量が解決する！』（アルク）他 『Oxford Reading Tree シリーズ』（オックスフォード大学出版局）								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	英語検定対策	2	自由選択	講義・演習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○英検3級合格に向けた学習を通し、英語を聞く、読む、書く、話す力を養う。</p> <p>○自分に必要な分野を把握し、自発的に学習する姿勢を身に付ける。</p> <p>○英検を取得し、学習に対する自信を深める。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○英会話演習</p> <p>○長文読解演習</p> <p>○リスニング演習</p> <p>○文法演習</p> <p>○面接練習</p>							
教科書副教材等	『でる順パス単 英検3級』（旺文社） 学習ソフト「英検 CAT」								
留意事項	<p>○年1回以上英検を受験すること。</p> <p>○各自一日5単語ずつ自宅で覚え、毎回の授業時に英単語テストを行う。</p> <p>○授業は学習ソフト「英検 CAT」を使って自習形式で行う。</p> <p>○各自でファイルを購入すること。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト・発表等 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、英検3級を取得していない。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『英検3級過去6回全問題集』（旺文社）								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
家庭	家庭基礎	2	必修	講義・実習	30	□	▽	再	再		
学習目標	<p>○人の一生と家族、衣食住、高齢者、乳幼児、福祉、消費生活、環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。</p> <p>○家庭生活の充実向上を図る能力と実践的態度を身に付ける。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○これからの人生に向かって、家族って何だろう ○高齢期ってどういう時期、高齢化する日本を生きる、高齢者を支える ○社会保障制度 ○刺し子ふきんなどの製作実習</p> <p>○衣服の機能、材料、選択、管理、衣生活と環境</p> <p>○現代の食生活、栄養素の働き、食品の選択方法、調理実習</p> <p>○住居の機能、平面図製作、安全で衛生的な住居、住生活と環境</p> <p>○消費生活(契約・販売方法・支払い方法)と消費者問題 ○発達と保育、こどもの福祉</p>									
教科書副教材等	6	教図	家基312	『新 家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる』(教育図書)						『家庭基礎 ワークノート』(教育図書) 『生活学 Navi』(実教出版)	
留意事項	<p>○実験・実習材料費(4,000円)については、年次積立金から支出する。</p> <p>○数人のグループで実習を行う場合がある。</p> <p>○調理実習時は、エプロン・三角巾(大きめのハンカチやバンダナなど)を持参する。</p> <p>○2年次必修科目である。ただし、3年卒業予定者は1年次に履修してもよい。</p> <p>○「家庭基礎」は卒業までに2単位履修しなければならない。</p>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。				
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次、または現在2年次以上で「家庭基礎」未履修(または見込み)。(新入生も登録可) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『新 13歳のハローワーク』(村上龍) 『この世でいちばん大事な「カネ」の話』(西原理恵子)										

# 家庭

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
家庭	子どもの発達と保育	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○		
学習目標	<p>○乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。</p> <p>○子どもの健全な成長を図る能力と態度を身に付ける。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○発達観・児童観の変遷</p> <p>○発育・発達の特徴 ○心の健康と精神保健</p> <p>○乳幼児の食生活 離乳食・幼児食の調理</p> <p>○乳幼児の生活習慣とつけ</p> <p>○保育の意義、家庭保育と集団保育 ○児童の福祉と法律、制度</p> <p>○保育実習、児童文化財の製作</p>									
教科書副教材等	7	実教	家庭311	『子どもの発達と保育 新訂版』(実教出版)						『子どもの発達と保育 学習ノート』(実教出版) 『生活学 Navi』(実教出版)	
留意事項	<p>○実習教材費(1,500円)(別途4月納入)</p> <p>○数人のグループでの実習を実施する。</p> <p>○調理実習時は、エプロン、三角巾(大きめのハンカチ)を用意する。</p>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。				
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『毎日かあさん』(西原理恵子) 『赤ちゃんが来た』『子ども界の人』(石阪 啓)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	生活と福祉	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得する。 ○高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○健康の概念、ライフステージと健康管理 ○介護保険制度 ○認知症・ユマニチュード ○地域包括支援センター ○高齢者の自立生活支援と介護 ○AED ○年金制度 ○講話・実習(ハンドマッサージ・衣類の着脱・車椅子・食事介助・生活支援・介護食・年賀カード作成・バイタルサイン・ロコモ予防・認知症サポーター講習・包帯法・生活設計・福祉の仕事・その他介護実習・看護実習・生活支援実習)							
教科書副教材等	準教科書『生活と福祉』(実教出版) 『生活と福祉 学習ノート』(実教出版) 『生活学 Navi』(実教出版)								
留意事項	○介護・看護実習は、体操着に着替え、数人のグループで行う。実習に伴う身体接触あり。 ○実習費 500 円程度(予定)								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と注意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ヘルプマン』(くさか里樹) 『家族のためのユマニチュード』(イヴ・ジネスト ロゼット・マレスコッティ 本田美和子)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	リビングデザイン	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○生活と住居、住居の設計、インテリアデザインなどに関する知識と技術を習得する。 ○快適な住空間をデザインする能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○心地よい場所を見つける ○日本の住居の歴史 ○住宅情報の読み取り ○インテリアの基本ルール(レイアウトとコーディネート、色彩の基礎知識) ○私の理想の家(平面)の製作 ○収納計画 ○少子高齢化と住まい ○安心安全な住まい ○これからの住まいと生活 ○マイルームの立体模型製作 ○健康的な住まい(結露、シックハウス症候群、ダニ、カビ等) ○快適な住まい(暖房・掃除) ○世界の住居							
教科書副教材等	準教科書『リビングデザイン』(実教出版) 『生活学 Navi』(実教出版)								
留意事項	○各自の課題に応じた実習の為、材料は各自購入、または自宅から持参する。 ○作品製作が好きなこと。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『人生を変える断捨離』(やましたひでこ)								

家庭

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	服飾文化	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○衣服の起源、日本の服飾の変遷、西洋の服飾の変遷、洋服、和服、伝統文化と服飾などに関する知識と技術を習得する。</p> <p>○服飾文化を伝承し新たな服飾文化を創造できる力と実践的態度を身に付ける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○服飾文化を学ぶ意義、衣服の起源</p> <p>○日本の服飾の移り変わり</p> <p>○西洋の服飾の移り変わり</p> <p>○被服製作の基本技術と被服や服飾品の製作</p> <p>○洋服、和服の種類と着装</p>							
教科書副教材等	6	教図	家庭310	『服飾文化』(教育図書)					
留意事項	<p>○製作、実習を中心とした授業であるため、作品製作が好きであること。</p> <p>○各自の課題に応じた実習のため、材料は各自で購入、または自宅から持参する。課題によって教材費は異なる。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ココ・シャネルの言葉』(山口路子)								

# 家庭

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	フードデザイン	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得する。</p> <p>○食事を総合的にデザインする能力と態度を身に付ける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○食生活と健康    ○栄養素のはたらきと食事計画    ○食品の特徴</p> <p>○調理実習 (和食・洋食・中華の日常食)    ○調理の基本</p> <p>○料理様式とテーブルコーディネート</p> <p>○調理実習 (日常食自由献立)</p>							
教科書副教材等	7	実教	家庭313	『フードデザイン 新訂版』(実教出版)					
	『フードデザイン学習ノート』(実教出版) 『生活学 Navi』(実教出版)								
	『ビジュアルクッキング』(教育図書)								
留意事項	<p>○実習教材費(4,000円)(別途4月納入)</p> <p>○調理実習は、少人数(4名程度)のグループで実施する。</p> <p>○エプロン、三角巾(大きめのハンカチ)、タオルを用意する。実習時は長い髪は結び、爪は切る。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『栄養と料理』(女子栄養大学出版部)								
	『フード・マイレージ 新版 あなたの食が地球を変える』(中田 哲也)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	食文化と食品加工	2	自由選択	講義・実験・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○調理科学、食品加工、食品衛生、郷土食などに関する知識と技術を習得する。 ○食事を総合的にデザインする能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○調理の基本、食品の加工 ○食べ物のおいしさ(味覚、視覚など) ○食中毒予防 ○食品の安全性、食品添加物 ○調理科学実験・実習 ○加工食品 ○調べ学習 ○テーマ食材を使った料理を考える(自由献立)							
教科書副教材等	ワークシート等、『生活学 Navi』(実教出版)								
留意事項	○実習教材費(4,000円)(別途4月納入) ○調理実習は、少人数(2~4名程度)のグループで実施する。 ○エプロン、三角巾(大きめのハンカチ)、タオルを用意する。 ○実習時は長い髪は結び、爪は短く切る。 ○フードデザインⅡの代替科目となるため、すでにフードデザインⅡを履修した生徒は登録できない。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 「フードデザインⅡ」を履修していない。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
家庭	リサイクル技術	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○環境・エネルギー・リサイクルの現状と容器・包装等の課題についての知識と技術を身に付ける。 ○リサイクル作品製作実習を通して、エコ生活について工夫し実践する態度を身に付ける。 ○グリーンコンシューマーとしてリサイクルについての関心と意欲を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○地球・環境問題「もったいない」 ○3つのR(リユース・リデュース・リサイクル) ○省エネ・グリーンコンシューマー ○リサイクル技術の発展に向けて ○リサイクル作品製作実習							
教科書副教材等	独自プリント作成、ワークシート教材を使用、『生活学 Navi』(実教出版)								
留意事項	○実習教材費(1,000円)(別途4月納入) ○古着、余り布、牛乳パックや空き瓶、新聞紙、包装紙その他、様々なものを再利用して実習する。 材料は各自で購入、または自宅から持参すること。 ○作品製作が好きであること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

家庭



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	日本の伝統・文化	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○日本の伝統や文化について講義と体験を通して理解を深める。 ○他国の伝統や文化を尊重するとともに、国際社会に生きる中でお互いに文化交流できるように目指す。								
主な学習計画	1年間の学習 ○オリエンテーション ○和紙、折形 ○歳時記(正月) ○風呂敷 ○まとめ ○和装と浴衣の着付け ○和菓子 ○和の作法 ○歳時記(節分) ○茶道 ○手紙のマナー								
教科書副教材等	本校作成ワークシートを使用、『最新版 楽しく学べるマナーの基本』(教育図書)								
留意事項	○実習教材費(2,000円)(別途4月納入) ○市民講師を招いての講義と実習を予定している。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『四季を愉しむ、につぼんの暮らし イラストで見る、歳時記入門』(宝島社)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	茶道	2	自由選択	講義・実習	15	-	○	○	○
学習目標	○茶道から日本の文化、伝統、歴史への理解を深める。 ○茶道の講義と実習を通して、人や物に対して気配りができる感性豊かな人間形成を目指す。								
主な学習計画	1年間の学習 ○茶道の歴史、道具、年中行事について ○和室の所作(襖の開け閉め、おじぎの仕方) ○割り稽古 ○盆略点前 ○薄茶点前 ○茶席の準備と片づけ ○客の作法 ○学習成果発表会の茶会運営および参加								
教科書副教材等	本校作成のプリントを使用、『学校茶道 初級編』(今日庵)								
留意事項	○実習教材費(8,000円)(別途4月納入) ○市民講師を招いて、講義と実習を予定している。 ○白い靴下と手拭き用のはんかちを毎授業用意する。 ○長い髪は結ぶ。 ○実習時に和菓子、抹茶の飲食あり。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 実技テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
情報	社会と情報	2	必修	実習・講義	30	▽	再	再	再
学習目標	○情報の活用と表現について学ぶ ○情報通信ネットワークとコミュニケーションについて学ぶ ○情報社会の課題とモラルについて学ぶ ○望ましい情報社会について学ぶ								
主な学習計画	1年間の学習	○情報・コンピュータの活用 ○問題解決の手順と方法 ○情報化が社会に及ぼす影響と課題 ○情報社会における法と個人の責任 ○情報のデジタル化			○情報モラル ○情報の伝達 ○情報セキュリティの確保 ○情報通信ネットワークのしくみとコミュニケーション ○望ましい情報社会				
教科書副教材等	116	日文	社情317	『新・見てわかる社会と情報』(日本文教出版)					
留意事項	○「社会と情報」は、情報関連科目の基礎科目である。 ○「社会と情報」は卒業までに2単位履修しなければならない。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新入生、または現在1年次以上で「社会と情報」未履修(または見込み)。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『「P検」3級テキスト』(P検協会) 『P検3級ドリル』(P検協会)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
情報	情報の表現と管理	2	自由選択	実習・講義	24	-	○	○	○
学習目標	○情報活用とメディアについて学ぶ ○情報の表現の基礎について学ぶ ○情報管理の基礎について学ぶ								
主な学習計画	1年間の学習	○メディアの種類と特性 ○文書・図解による表現技法 ○プレゼンテーションの基礎 ○ドキュメンテーション ○コンピュータによる情報の管理と活用			○コミュニケーションの基礎 ○音・画像・動画による表現技法 ○ネットワークを活用した情報発信 ○情報の管理				
教科書副教材等	7	実教	情報301	『情報の表現と管理』(実教出版)					
留意事項	○「情報の表現と管理」は、情報関連科目の基礎的な科目である。 ○「社会と情報」の続きの内容になるので、「社会と情報」の発展的な内容を学びたい場合や資格取得などを狙っている生徒は履修すること。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『できるキッズ 子どもと学ぶ Scratch3 プログラミング入門 できるキッズシリーズ』 (竹林暁, 澤田千代子) 『デザインの学校これからはじめる Premiere Pro の本』(佐藤太郎, 白井小太郎)								



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
情報	情報の科学	2	自由選択	実習・講義	24	-	-	○	○		
学習目標	○情報技術の役割や影響を学ぶ ○情報と情報技術を問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方を学ぶ ○情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を学ぶ										
主な学習計画	1年間の学習	○情報のデジタル化 ○情報通信ネットワーク ○文章の構造化 ○プログラムの構造 ○モデル化とシミュレーション ○データベース									
教科書 副教材等	2	東書	情科306	『情報の科学』(東京書籍)							
留意事項	○「情報の科学」は、情報関連科目の科学的な科目である。 ○「社会と情報」、「情報の表現と管理」の理解を前提とした応用的な内容である。 ○自主的な技術研究・授業中の実習・授業中の共同作業に積極的に取り組むことが求められる。										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「社会と情報」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 「情報の表現と管理」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『アルゴリズム図鑑 絵で見てわかる 26 のアルゴリズム』(石田保輝, 宮崎修一) 『Monaca で学ぶはじめてのプログラミング ~モバイルアプリ入門編~』 (アシアル株式会社, 生形可奈子, 岡本雄樹) 『Excel マクロ&VBA やさしい教科書』(古川順平)										



### 授業選択の話④

### 卒業までの計画を立てよう

授業選択は「稔ヶ丘高校を卒業した後」のことを考えることが大事です。

- ⇒ 大学に進みたい
  - 理系の大学は入試に「数学Ⅱ」や「物理基礎」が必要な場合が多いです。その場合、卒業年次よりも前に履修しておくのがおすすめです。
- ⇒ 「小論文」が書けるようになりたい
  - 「小論文」を履修する可能性があるなら、1年次から計画的に履修しなければいけません。1年次の「国語総合」4単位を履修、2年次の「国語常識」2単位を修得できて初めて、3年次で「小論文」の登録が可能になります。
- ⇒ 夏休み中に進路活動がしたい
  - 夏季休業中に安心して進路活動をしたいなら、マイレージや技能審査を入れなくても、卒業見込みになるようにしておきましょう。授業料がかかってしまいましたが、74単位よりも多く修得できるようにしておくのもいいでしょう。

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
商業	ビジネス基礎	2	自由選択	講義	30	-	○	○	○
学習目標	<p>○生産・流通・消費のつながりや、経済主体の仕組みを理解し、企業が行うビジネス活動と経済の関係を理解する。</p> <p>○ビジネスに対する心構えについて理解するとともに、小売・卸売・金融・物流・保険・情報の各担当者の役割も理解する。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商業の学習ガイダンス</li> <li>○経済生活とビジネス</li> <li>○ビジネスと流通活動 –経済活動と流通、流通活動の特徴、流通活動と企業–</li> <li>○ビジネスと流通活動 –ビジネスの担当者として–</li> <li>○ビジネスと売買取引</li> </ul>								
教科書 副教材等	7	実教	商業334	『ビジネス基礎 新訂版』(実教出版)					
留意事項	<p>○将来社会人として世の中に出る前に、ビジネスの世界を知っておきたいという人にお勧め。</p> <p>○ビジネスの世界の“一般常識”を学習する。</p> <p>○経済社会のニュースなども取り上げて講義を行う。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
商業	ビジネス実務	2	自由選択	講義	25	-	○	○	○
学習目標	<p>○文書情報がコミュニケーションの手段として、ビジネス活動の中で果たしている役割や種類について理解するとともに、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。</p> <p>○オフィス実務としてのビジネスマナーやコミュニケーションを理解する。</p> <p>○ビジネスとそれに関する様々な計算や言語を学習する。</p>								
主な学習計画	<p>1年間の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商業文書    ・ビジネス活動と文書情報                   ・基本文書の作成                   ・応用文書の作成</li> <li>○オフィス実務 –商業とビジネスマナー–</li> <li>○ビジネス計算 –四則計算 その他–</li> <li>○ビジネスとコミュニケーション</li> </ul>								
教科書 副教材等	7	実教	商業345	『ビジネス実務 新訂版』(実教出版)					
留意事項	<p>○検定の受験料・問題集は別途(受験級により1,000~3,000円程度)。</p> <p>○ビジネス文書実務(ワープロ)検定、パソコン入力スピード認定は、技能審査にも対応。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

商業

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
商業	簿記	4	自由選択	演習	30	-	○	○	○		
学習目標	<p>○簿記の意味・役割を理解する。</p> <p>○資産・負債・資本、収益・費用の意味を理解し相互関係を理解する。</p> <p>○取引を分解して勘定に記入する方法を理解する。</p> <p>○さまざまな取引と仕訳の方法について理解し、決算手続き全体の流れとその記帳方法を理解する。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○簿記の基礎</p> <p>○取引の記帳 現金・預金の取引、商品売買の取引、掛け取引、手形の取引</p> <p>○取引の記帳</p> <p>○決算</p> <p>○帳簿と伝票</p>									
教科書 副教材等	190	東法	商業340	『簿記 新訂版』(東京法令出版)						問題集『完全段階式 標準検定簿記問題集 全商3級』(とうほう)	
留意事項	<p>○授業で使用する問題集代 約 700 円</p> <p>○全国商業高等学校協会 簿記検定の受験料 各級とも 1,300 円</p> <p>○積み重ねの学習が大切な科目である。休まずに授業に出られることが望ましい。</p> <p>○商学系の大学、ビジネス系の専門学校への進学希望者は、履修が望ましい。</p>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。				
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
商業	マーケティング	2	自由選択	講義	30	-	○	○	○		
学習目標	<p>○激しく変化する現代市場でマーケティングが果たす役割を理解する。</p> <p>○市場調査がマーケティング活動の出発点であることを理解する。</p> <p>○販売予測や新製品の開発について、また、価格決定の仕組みや価格政策について理解する。</p> <p>○企業と消費者のコミュニケーション活動として販売促進を理解する。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○現代市場とマーケティング</p> <p>○市場調査・販売計画・製品計画</p> <p>○仕入計画と商品管理</p> <p>○販売価格</p> <p>○販売経路・販売促進</p> <p>○顧客満足の実現</p>									
教科書 副教材等	7	実教	商業336	『マーケティング 新訂版』(実教出版)							
留意事項	<p>○将来、販売職に就きたいという人にもお勧め。</p> <p>○「ビジネス基礎」を履修済み(または見込み)であることが望ましい。</p>										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査						以上の点を総合的に評価する。				
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
商業	経済活動と法	2	自由選択	講義	30	-	-	○	○
学習目標	<p>○ビジネスに必要な法規(民法や商法など)に関する基礎的・基本的知識を習得する。</p> <p>○経済社会における法の意義や役割について理解する。</p> <p>○経済活動のさまざまな場面を法律的に考え、判断する能力と態度を育てる。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○経済社会と法</p> <p>○権利・義務と財産権 権利・義務とその主体、物と財産権</p> <p>○財産権と契約そしてその保護 財産権と契約、物の売買、物の貸借</p>							
教科書副教材等	190	東法	商業355	『経済活動と法 新訂版』(東京法令出版)					
留意事項	<p>○「ビジネス基礎」を履修済み(または見込み)であることが望ましい。</p> <p>○進路先として、法学部や商学関係の学部への進学及び就職を考えている者が履修することが望ましい。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
商業	ビジネス情報	2	自由選択	実習	28	-	○	○	○
学習目標	<p>○ビジネスに関する情報を処理するために必要な表計算ソフトウェアやの活用に関する知識と技術の習得を目指す。</p> <p>○表計算ソフトウェアの資格取得を目指す。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○オフィス業務と情報通信ネットワーク</p> <p>○表計算ソフトウェアの活用</p> <p>○ソフトウェアを活用したシステム開発</p>							
教科書副教材等	190	東法	商業353	『ビジネス情報 新訂版』(東京法令出版)					
留意事項	<p>○積み重ねの学習が大切な科目である。休まずに授業に出られることが望ましい。</p> <p>○検定を受験する場合、受験料・問題集は別途(受験級により1,500~3,000円程度)。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
総合	コーピング	1	学校必登録	講義・実習 (体験活動)	—	◎	-	-	-
学習目標	○自己理解を深め、学習の動機付けをもつ。 ○認知を変化させて、ストレスをコントロールする方法を学ぶ。 ○心と体をリラックスさせ、情動をコントロールする方法を学ぶ。 ○人間関係を作るための社会的スキルを身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○導入(自己理解を深め、学習の目標をもつ) ○「情動」のスキル リラックス法を習慣にする(呼吸法、弛緩法、イメージ法) ○「認知」のスキル 認知の仕方を柔軟にし、ストレスを軽減する ○「行動」のスキル(ソーシャルスキル) 会話のスキル、あたたかい言葉かけ アサーション(相手も自分も大切に、自己主張の仕方)							
教科書副教材等	早稲田大学との共同開発による本校オリジナル教材 KJQ 検査等、各種心理検査								
留意事項	○ワークシートに書いて考える学習を主に、グループワークなどの実習を取り入れ、実際に体を動かして体験的に学んでいきます。 ○心理検査代、ファイル代(年次積立金から支出する)								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新入生である。(1年次学校必登録科目) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
総合	産業社会と人間	2	学校必登録	講義・演習	—	-	◎	-	-
学習目標	○職業人として必要とされる能力・態度、望ましい職業観を養う ○我が国の産業の発展について理解し、それがもたらした社会の変化について考察する ○自己の将来の生き方や進路について考察する								
主な学習計画	1年間の学習	○講演会の実施(内容は変更することもある) ・基礎力(実力)診断テスト結果の見方 ・大学とは・卒業生講話 ・民間企業経営者の話など ○キャリアパスポートの作成(学習の成果・課外活動やその他の社会活動の成果の記録) ○小論文作成指導・志望動機作成指導・面接練習 ○職業と生活について理解を深める学習 ○ルーブリックを用いた自己評価(学期ごとの振り返り、1年通しての振り返り)							
教科書副教材等	ワークシート等使用								
留意事項	○学習成果は、学習成果発表会で発表する ○基礎力・実力診断テスト代、教材ファイル代を年次積立金から支出する								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次である。(2年次学校必登録科目) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
総合的な探究(学習)の時間	人間と社会	1	学校必履修	講義・演習	—	▽	-	再	再
学習目標	<p>○価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳観を養い、判断基準を高めることで、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を付ける。</p> <p>○子供や高齢者、地域のボランティア活動について理解を深め、様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○さまざまなボランティア活動、高校生のボランティア活動 ○ボランティアセンターの役割</p> <p>○サービスマーケティング ○児童福祉に関する活動</p> <p>○国際交流・協力分野の活動 ○防災・災害救援分野の活動 ○環境保全活動</p> <p>○視覚障害者理解の活動</p> <p>○聴覚障害者理解の活動</p>							
教科書副教材等	『人間と社会』(東京書籍) 教材プリント								
留意事項	<p>○基礎的・基本的な知識とともに、社会の一員であること及び社会に役立つ喜びを、体験を通して学習する。従って、自ら積極的に動き、活動することが求められる。</p> <p>○卒業するためには、この科目を1単位履修しなければならない。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					<p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和3年度新入生、または来年度卒業予定で「人間と社会」未履修。(1年次学校必履修科目) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
総合的な探究(学習)の時間	キャリアサクセス	2	学校必履修	講義・演習	—	-	-	▽	▽
学習目標	<p>○各自の進路志望を明確化して進路実現に向けた学習意欲を高め、行動し、継続する。</p> <p>○それぞれ目指す進路は違っても、互いに支えあい、学びあう仲間関係を作っていく。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○目標・計画(志望動機シート、相互インタビュー、年間計画、夏休みの計画)</p> <p>○志望動機(志望理由書、相互インタビュー、面接の基本、相互面接練習)</p> <p>○各自の進路に応じた取り組み(充実目標発見シート、充実タイム活用シート)</p> <p>○卒業メッセージ(学校生活をふり返り、後輩に贈ることば)</p>							
教科書副教材等	本校オリジナル教材								
留意事項	<p>○卒業年次必履修科目である。(卒業年度にしか履修できない)</p> <p>○自分の進路と真剣に向き合おうとする生徒には、必ず役立つ科目である。収穫は自分次第である。</p> <p>○授業はホームルーム単位(登録者のみ)で実施する。</p> <p>○卒業するためには、この科目を2単位履修しなければならない。</p>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					<p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、来年度卒業予定。(卒業年次学校必履修科目) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『もっとやりたい仕事がある!』(池上彰)								



# MEMO

履修登録に関するプリントを貼ったり、気になるポイントをメモしたりしましょう。





# MEMO

履修登録に関するプリントを貼ったり、気になるポイントをメモしたりしましょう。

メモ